

船舶事故調査報告書

平成25年9月5日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（消波ブロック）
発生日時	平成24年9月13日 22時00分ごろ
発生場所	鹿児島県和泊町和泊港港口 和泊港導灯（後灯）から真方位090° 670m付近 （概位 北緯27° 23.9′ 東経128° 40.0′）
事故調査の経過	平成24年9月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 プリンセス ^ツ 2、6.6トン KG2-1763（漁船登録番号）、個人所有 8.60m（Lr）×3.25m×1.61m、FRP ディーゼル機関2基、220.66kW（合計）、昭和58年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 63歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成3年4月25日 免許証交付日 平成22年11月11日 （平成28年6月27日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船首部が圧壊、プロペラ翼及びプロペラ軸が曲損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、船首約0.6m、船尾約1.0mの喫水により、1本釣りを終え、水揚げのため、船長が、和泊港へ向け、手動操舵で対地速力約3ノットとし、西進していた。 船長は、和泊港へ夜間に入港するのは初めてであったが、ゆっくり走れば大丈夫だと思い、また、GPSプロッターは、作動させていたが、港口に入ったので、見ずに航行していたところ、平成24年9月13日22時00分ごろ港口の消波ブロックに衝突した。 本船は、消波ブロックに衝突したのち、消波ブロックから離れようとして全速力後進としたところ、風波に圧流され、プロペラが消波ブロックに当たって主機が停止し、東風で北側の岸壁に圧流されたが、岸壁にいた人にロープを渡して引き寄せてもらい、岸壁に着岸した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約2.0m、潮汐 下げ潮の末期

その他の事項	消波ブロック付近には、灯火などの標識はなかった。 船長は、救命胴衣を着用していた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、和泊港港口を西進して入航中、船長が、和泊港への入航は初めてであったが、低速で航行すれば安全に入航できると思い、GPSプロッターを見ずに航行していたことから、消波ブロックに向けて航行し、消波ブロックに衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、和泊港港口を西進して入航中、船長が、和泊港への入航は初めてであったが、GPSプロッターを見ずに航行していたため、消波ブロックに向けて航行し、消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、初めて入航する港については、事前に水路調査を行うこと。 ・GPSプロッターを活用すること。